※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	ファッションデザイン	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	ファッションデザイン　（実教出版）						
副教材等	実習教材、プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇ファッションデザインに関心をもち、積極的に取り組みましょう
被服製作に関する知識と技術を身に付け、ファッションをデザインし日常生活に生かす能力を育てます。積極的・意欲的に実習等に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

ファッションデザインの基礎、発想と表現法などに関する知識と技術を習得させ、ファッションを創造的にデザインする能力と態度を育てる。
（１）ファッションデザインの基礎、発想や表現の方法などについて体系的・統計的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
（２）ファッションデザインに関する課題を発見し、ファッション産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（３）ファッション産業の発展を目指して自ら学び、ファッションの創造的なデザインに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	被服製作に関する技術を学習し、被服を能率的に製作できるようにする。立体構成に関する技術を習得する。	被服製作に関する理論を学習し、自ら思考を深め、創意工夫する能力を身に付けている。	被服製作を通して、ファッションデザインに対する関心をもち、役立てようとする創造的・実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	デザイン	○オリエンテーション ・科目内容を理解する ○ファッションデザインの基礎 ・デザイン画 ○色彩学	a:ファッションデザインの基礎や色彩に関する基礎的な知識を理解し、デザイン画を通して、基本プロモーションや基本的な着装表現、彩色方法などの表現方法を身に付けている。 b:　与えられたテーマに対するイメージをまとめ、デザイン画などで表現している。 c:　デザインの基礎や色彩学に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価　等
	被服の機能と着装	○被服の機能と着装 ・何をどう着るか ○被服の管理と計画 ・界面活性剤のはたらき ・衣服を自分で直そう ○被服実習 ・被服製作	a:被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識、被服計画、被服整理、被服製作などの技術を身に付けている。 b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価　等
後期	被服製作	○被服製作 ・被服作品の製作 ・立体構成	a:　作品製作を通して、採寸や裁断、縫製などの基本的な技術を身に付けている。 b：　製作において課題を見いだし、その解決をめざし、表現している。 c:　製作や立体構成について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート発表 自己評価　等
	包装材料	○包装材料 ・包装材料のデザイン画 ○レジン・プラバン小物製作	a:　包装材料のデザイン画について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:　アパレルメーカーなどのコンセプトに合った包装材料をデザインし、自分らしさを表現している。 c:　包装材料のデザイン画について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート発表 自己評価　等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度